



体験に勝るものなし(5年生)

先月の話になりますが10月25日(金)に5年生が、稲刈りをしました。もみまき、田植えをして、ようやく実った稲を刈り取りました。子どもたちは、社会科で農業について学習をしました。また、総合的な学習の時間に、米作りについて調べました。これまでの学習から、米作りの工夫や米を原料とした製品などを理解しています。しかし、実際の米作りを体験することでその理解は一層深まります。

今年は猛暑や需要増の影響で、米不足と言われました。そういった出来事とも関連付けて「米作り」の体験を自分のものにしてほしいと思います。ご協力くださった地域の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。

【稲刈りの感想】

🍷 稲刈りをするとき、稲の茎を切る瞬間がとても気持ちよかったです。一度で切れたときは格別でした。協力してくださった農家さんにも「とても刈るのが速いね。」と言われたのがうれしかったです。脱穀をしたとき、いろいろな時代の脱穀のやり方や道具を知ることができて、とても勉強になりました。また、稲刈りをして農家さんの苦勞を知ったので、次からもっとお米を味わって食べようと思います。

🍷 初めて稲刈り体験をしました。田植えでは、植えていくにつれて満足感がありましたが、稲刈りでは、刈っても刈っても先が長く感じました。刈るにも力が入れ方がうまくいかず、1回で刈り取るのは難しかったです。今回の大変な作業を体験して、お米のありがたさが身にしみました。そして、お米がさらにおいしく感じられるようになりました。米作りに協力してくださった地域の皆さん、ありがとうございました。

🍷 初めて稲刈りをしました。地域の方がとても丁寧に教えてくださって、近所の方も来て、いろいろ教えてくださいました。とても分かりやすかったので、上手く稲を刈ることができました。稲刈りをして、初めて「こぎばし」などの道具の名前も知りました。その道具の使い方も教わりました。稲はとてもきれいな色をしていて、たくさん実っていました。貴重な体験でとても楽しかったです。自分たちで植えて、刈ったお米を食べてみたいです。地域の方の田んぼには20年間もお世話になったので、とてもありがたいと思いました。

